

鬼瓦をつかって、だるま窯で焚く。
ただ、それだけ。
だけどとっても懐かしいのは、なぜ？



2013 三州だるま窯プロジェクト

三州 → 鬼師
↑ ↓
瓦 ← 達磨窯



だるま窯でのいぶし瓦焼成は昭和40年代頃まで行われ、最盛期には100基以上の窯が、西三河南西部で稼働していたが、その後、現在の金属枠のガス焼成炉の登場により徐々に姿を消すこととなった。平成22年秋、地元有志によって「三州だるま窯復元プロジェクト」が結成され、大正時代に作られた唯一残っていた崩落寸前のだるま窯を修理復元し、30年ぶりに窯に火が入った。以降、年に一度メンテナンスを兼ねてイベント的に火入れを行っている。



1. 鬼瓦製作 11/10 (日) 9:00 ~ 12:00
内 容：鬼師指導の下、B5サイズの鬼瓦を製作します。
場 所：高浜市やきものの里かわら美術館 2F 陶芸創作室
(高浜市青木町9-6-18)
持ち物：エプロン・タオル
2. 窯詰め 11/30 (土) 9:00 ~ 16:00 場所：だるま窯 (高浜市田戸町 丸栄製瓦)
3. 窯焚き 12/ 7 (土) 9:00 ~ 火入れ 12/8 (日) 未明 ※込み～火止めは深夜。
4. 窯出し 12/14 (土) 9:00 ~ 作品引渡し。以後、事務局にて。

【参加費用】 2,000円 (中学生以下1,000円)
【定 員】 20名 (先着順)
【申し込み】 三州瓦工業協同組合 事務局 TEL: 0566-53-1420 FAX: 0566-52-0435
日曜を除く 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

2~4は、
オープン参加。